

如キ有様故東京ヨリ極手近カナ伊豆七島ノ様ナ處デサヘモ今ニ手ガ届カナイデ其植物ハ全ク暗黒ノ裏ニ葬リ去
ラレテ居ル様ナ有様デアル

先般我農商務省ノ役人ガ獨逸デ食用ニシテ居ル野草ノコトヲ書イタ一枚摺ノ表ヲ瑞西トカデヤット求メテ來テ
ソレヲ翻譯シテ版ニシ世ニ出シタモノガアルガ我日本ニハ其レニ比スレバ幸ニモ疾クヨリモ一少シ良イモノガ
幾ラモアル我日本ノ草木デ或ハヒタシモノニシ或ハ汁ノミナドニスルモノナド頗ル多イ然シ現代ノ進歩シタ智
識デ考究セラレタモノハ一ツモナイカラ新タニ我邦ノ然ルベキ學者ニ頼ンデ萬一ノ用意ノ爲メ我日本產ノ草木
ノ食ヘルモノ、良圖ヲ拵ヘ解リ易イ解説ヲ加ヘ素人目ニモ判ル様ニシテ置ケバドレ程我邦人ニ利益ガアルカ知
レナイ他日若シ食物ノ缺乏シタ場合ニハ此等ノモノガ早速ニ役ニ立ツノデアル然シ日本ノ有用植物デサヘモ今
日其調査ハ尙不完全デアルカラ食物ニナル野外ノ草木ナドノ調査ハ固ヨリ充分ナル調べハツイテ居ナイ農圃ニ
栽培シテ居ル植物ノ調査サヘモマダ固ヨリ充分デナク例ヘバ菜ノ種類ノ如キモ其一デアルガ假令書イタモノガ
アッタトシテモ其レハ固ヨリ粗雜ナモノデ外國ニ對シマダマダ遜色ガアル又學校用ノ掛圖ナドデモ歐洲ナドデ
ハ既ニ五六十年前ニ出版シタモノデ立派ナモノガアルガ然シ日本デハ現時デサヘモソノ半分ノモノモ出來テ居
ナイ

要スルニ我邦人ノナシタ植物學上ノ研究デ或ル特別ナモノハ西洋人ヲ驚カシタモノモアルガ然シ其レガ爲メニ
我日本ノ植物學ノ全體ガ歐米ノソレニ比ベテ優ツテ居ルト云フノデハ決シテナイ (未完)

○植物家佛醫サヴァチエー氏ノ事蹟補遺

(本誌第一卷第九號參照)

【一】サヴァチエー氏ト日本植物學家

在神奈川縣橫須賀 千葉醫學專門學校醫學士

今 井 忠 宗

植物家佛醫サヴァチエー氏ノ事蹟補遺

サヴァチエー(L. SAVAÏER)氏ノ横須賀在勤中同氏ニ從事シ又ハ其植物採集ヲ補助シタル邦人多シ栗本鋤雲(宛菴)ハ嘉永元年喜多村氏ヨリ入りテ幕府ノ醫官栗本丹洲ノ家ヲ繼ギ醫學ヲ多紀元堅ニ本草學ヲ曲直瀨養安院ニ學ビ嘉永三年内班侍醫ニ列シ安政五年北海道函館ニ移リ採藥、藥園ヲ起シ其後相州横須賀製鐵所委員ニ舉ゲラレシ人ニシテ其官命ニヨリ歐洲ニ派遣セラル、ヤ慶應三年八月瑞西國滯在中アルプス山ニ登リ植物採集ヲナシタル事アリ植物學ニ造詣深ク從テサヴァチエー氏ニ多少有利ナリシモノ、如シ

又佐波一郎氏(横須賀製鐵所技手ニシテ佛語ヲ能クシ後ニ造船科船臺工場長トナリシ人ニシテ目下佛人ノ經營セル東京市丸ノ内酸素、アセチレン會社ニ勤務セラル)ハサヴァチエー氏ノ爲メニ常ニ通譯ノ勞ヲ執リ且サヴァチエー氏ノ花彙佛譯ニハ多大ノ幫助ヲ與ヘタリ、サヴァチエー氏之ヲ德トシ *Leaves Kwa-wi* (紙數百五十六頁)開卷第一 *Traduits du Japonais Avec L'Aide De M. Saba*. ト署シ又みやまたちしだト稱スル一羊齒ニ *Aspidium Sabaei*, Fr. *et* *Sav.* ナル學名ヲ附シ以テ其功勞ヲ表彰シタリ

其他本邦植物學者伊藤謙、田中芳男、小野職愨氏等屢徒歩來横シサヴァチエー氏ニ質疑セシコトナドアリタリ

【二】サヴァチエー氏ノ爲シタル日本植物學上ノ事業

サヴァチエー氏ハ慶應二年六月横須賀ニ來リウエルニー(F. L. VERNY)氏ガ豫テ日本政府ニ聲明シタル主張ニ基キ日本殖産ノ一助トシテさるく樹及ビありふ樹ヲ横須賀ノ山林中(自邸附近)ニ移植セシモ不幸ニシテさるく樹ハ枯死シ唯ありふ樹ノミ殘存シタリ其後田中芳男氏ハ花戸内山卯之吉ニ命ジありふ樹ヲ東京ノ巢鴨藥園ニ移サシム

又サヴァチエー氏ハ自邸内庭園ニ茴香ヲ始メトシ數種ノ藥草菊科植物等ヲ栽培研究シタリ

其他サヴァチエー氏ハ醫學ノ外製鐵所内化學分析ノ一部、保健衛生、防疫事務并ニ殖産上ノ事業ニモ從事シタリト云フ



村 作 氏



佐 波 一 郎 氏

サヴァチエー氏ノ大事業タル植物採集ニ就テハ其本務
 醫官ナリシ爲メ患者診療ニ寧日ナク從テ遠ク採集ニ出
 ズルノ餘裕(横須賀製鐵所記録ニ徴スルモ日本内地旅
 行ノ事實ナシ)ナク僅ニ横須賀ヲ中心トシ三浦郡一圓
 逗子、鎌倉、江ノ島、横濱附近ノ山野并ニ猿島其他沿
 海地ノ植物採集(職工川島三太郎ニ舟ヲ操縦セシメ)ヲ
 ナシタルノミ
 然ルニモ關ハラズサヴァチエー氏ガ許多ノ本邦植物ヲ
 採集シタルハ全ク横須賀製鐵所雇佛國材木技師エミ
 ル、デュッボン(Ingenieur E. Dupont)氏(佛國海軍大
 技士)ガ官命ニヨリ本邦各地官林ニ鑑材検査ニ出張セ
 ルヲ機トシ同氏及ビ其隨員殊ニ佐波一郎氏等ニ植物採
 集ヲ依頼シタルニヨル
 因ニ技師エミール、デュッボン氏ハ艦材鑑定ノ爲メ月
 俸日本貨幣四百圓、旅費一日六圓ノ支給ヲ受ケ三年間
 服務ノ契約ヲ以テ日本政府ニ聘セラレ明治七年十一月
 四日三十四歳ヲ以テ横須賀製鐵所ニ來任シ日本各地ノ
 森林ヲ巡視シ明治十年九月三日任滿チテ歸國シ西曆千
 八百八十年(明治十二年)巴里ニ於テ Dupont, E.-Les

essences forestières du Japon. (Paris, 1880.) ナル一書ヲ刊行シタル人ナリ

又明治八年十月二十五日川村海軍大輔ハデュッボン氏ガ佛國ヨリ輸入シタルちく樹種子ヲ鹿兒島縣ニ送り播種セシメタルコトアリ

デュッボン氏ノ巡視シタル本邦官林所在地及ビ其年月ハ次ノ如シ

第一回官林巡視ハ細谷大師、前田權中屬、佐波十三等出仕、地理寮官吏等デュッボン氏ニ同伴明治七年十二月六日出發武相豆駿ノ四州ニ互リ巡視シ同月二十八日歸所シタリ、是ヨリ先キ内務省ハ明治七年十二月三日東京府、埼玉縣、熊谷縣、神奈川縣、足柄縣、靜岡縣ノ一府五縣ニ對シ左ノ公達ヲ發シ以テデュッボン氏ノ通行ニ支障ナカラシメタリ

今般海軍省雇材木技師アンデニール、デュッボン艦材檢査ノ爲メ同省官員同道武相豆駿四州ノ官林へ出張致候條此旨相心得管下官林書類並繪圖面等兼テ取揃置キ諸事差支無之様可取計此段相達候事

第二回官林巡視ハ長坂權中屬、佐波十三等出仕、地理寮官吏等デュッボン氏ニ同伴明治八年三月十日出發、日本ノ中部及西部二十有九ヶ國ニ互リ巡視ヲ遂ゲ五月十五日歸着シタリ、明治八年二月十九日内務省ハ海軍省ノ要求ニヨリ官林所在地ノ各府縣ニ對シデュッボン氏ノ通行ニ支障ナカラシムベク次ノ知ク布達セリ

海軍省雇デュッボン官林爲檢査主船寮官員附添左之國々巡回候條道筋無故障相通可申事

山城、能登、伊勢、丹後、越中、紀伊、若狹、相模、志摩、越前、伊豆、淡路、攝津、丹波、尾張、加賀、但馬、土佐、肥前、伊賀、駿河、肥後、甲斐、近江、美濃、信濃、飛驒、和泉、阿波、

計二十九ヶ國

第三回官林巡視ハ長坂權中屬、佐波十三等出仕、地理寮官吏等デュッボン氏ニ同伴明治八年六月十二日出發往路ヲ東海道ニ歸路ヲ甲州街道ニトリ濱松縣、筑摩縣、岐阜縣、愛知縣ノ官林ヲ巡視シタリ

サヴァチエー氏ハ上述官林巡視ノ途ニ上レルヂュッボン氏并ニ佐波氏ニ依頼シ以テ日本各地ノ植物ヲ採集スルコトヲ得其標本ヲ便船ニ托シ在佛國フランシェー(A. FRANCHET)氏ノ許ニ送附シ以テ兩氏合著日本植物總目錄ヲ大成セリ、勿論其著述ニ當リテハ飯沼慾齋著草木圖說二十卷(天保三年即チ西曆千八百三十二年)島田充房著花彙八卷(明和二年即チ西曆千七百六十五年)并ニ岩崎灌園著本草圖譜九十有餘卷(山草部四卷ハ文政十二年即チ西曆千八百二十九年出版、芳草部二卷ハ次年ノ天保元年ノ出版、他ハ寫本トシテ遺存ス)ヲモ參照引用シタルコトヲ知ル即チ

FRANCHET, A. et SAVATIER, L.—Enumeratio plantarum in japonia sponte crescentium hucusque rite cognitarum adjectis descriptionibus specierum pro regione novarum quibus accedit determinatio herbarum in libris japonicis sive MOKOU ZOUSSETZ xylographice delineatarum. トモニ又山葵即チわさびノ學名ニ Cochlearia Japonica, FRANCHET ET SAVATIER, Sp. nov. Livres Kwa-wi, p. 64. 等ノ記載アリ

【三】サヴァチエー氏ノ著書

右ノフランシェー氏ト合著ナル日本植物總目錄ノ外尙ホ次ノ數種アリ

SAVATIER, L.—Livres Kwa-wi. (Paris, 1873.)

—On the Increase of the Flora of Japan (Trans. of the Asiat. Soc. of Japan, 1874.).

—Sur les Mutisacées du Japon (Mittheilungen der deutschen Gesellschaft für Nature und Völkerkunde Ostasiens. Yokohama, 1875.).

【四】サヴァチエー氏其他ヲ記念セル邦產植物ノ學名

(一) サヴァチエー氏ヲ植物ノ種名トセルモノ

●Acer pictum, THUNB. var. typicum, SCHW. subvar. Savatieri, PAX. ●Aster Savatieri, MAKINO. (=Boko-

(二)

横須賀ヲ植物ノ種名トセハモ

● *Arabis yokoscensis*, Fr. ET SAV. ● *Athyrium yokoscense*, MAKINO (= *Asplenium yokoscense*, Fr. ET SAV.)
 ● *Juncus yokoscensis*, Fr. ET SAV. ● *Rosa Luciae*, FRANCH. ET ROCHER. var.
yokoscensis, Fr. ET SAV. 以上は、ヨコスカ地方に産する植物の種名である。

(三)

植物學名未ニフランシヤ及ビサザアチエー兩氏名ヲ署セルモノ

● *Acanthopanax asperatum*, Fr. ET SAV. 以下 *Zoysia macrostachya*, Fr. ET SAV. に至ル迄其品種數實ニ數
 百アリ誌面狹隘ナルヲ以テ今姑ク茲ニ之ヲ省ク而シテ此等ハ收テ兩氏合著ノ日本植物總目錄ニ在リ)

【五】其他ノ事項

其後ノ調査ニヨリサザアチエー氏ノ出產地ハ佛國シヤラント、アンフェリオールノ中サン、デオルデ、ドレロ
 シ、シヤラント、アンフェリオール (Saint Georges d'Oleron Charente Inférieure) ナルコト及其死因ハ Goutt

痛風ナリシコト判明シタリ

引 證

- | | |
|--|---|
| (1) 佐波一郎氏談話 | (2) 佐波一郎氏所藏佛文書數篇 |
| (3) 木村作助氏談話 | (4) 橫須賀海軍工廠、橫須賀海軍船廠史 第一—第三卷 大正四年 |
| (5) 經濟雜誌社、大日本人名辭書 第五版 明治三十九年 | (6) 栗本秀二郎、砲臺遺稿 明治三十三年 |
| (7) 松村任三、 ^{改正} 増補植物名彙 明治三十九年 | (8) 松村任三、帝國植物名鑑 明治三十七、三十八、四十五年 |
| (9) 富士川游、日本醫學史 明治三十九年 | (10) 白井光太郎、増訂日本博物學年表 明治四十一年 |
| (11) 牧野富太郎、増訂草木圖説 明治四十年 | (12) 橫須賀在住造船所關係古老者談片 |
| (13) DUPONT, E.—Les essences forestières du Japon. Paris, 1880. | (14) FRANCHET, A. et SAVATIER, L.—Enumeratio plantarum in Japonia sponte crescentium. Paris. Vol. I. 1874. Vol. II. 1879. |
| (15) SAVATIER, L.—Botanique japonaise, Livres Kwa-wi. Paris, 1873. | |

本稿起草材料蒐集ニ關シテハ佐波一郎殿及ビ木村作助殿ノ幫助ヲ受ケシコト多シ茲ニ錄シテ其芳志ニ酬ユ

○朝鮮産松柏類ノ種類ト分布

理學博士 中 井 猛 之 進

朝鮮ノ松柏類ニハ既知種トシテ次ノ各種アリ

一位科 TAXACEAE

1. *Cephalotaxus drupacea*, SIEB. ET ZUCC. スダガヤ
2. *Taxus cuspidata*, SIEB. ET ZUCC. スダギ

松 科 PINACEAE

3. *Torreya nucifera*, SIEB. ET ZUCC. かやのこ
4. *Abies holophylla*, MAXIM. マツセンモミ
5. *Abies koreana*, WILS. マツセンシラビ